

2015年10月14日
公益財団法人日本バスケットボール協会

公益財団法人日本バスケットボール協会

平成27年度 第5回理事会 報告

日時:2015(平成27)年10月14日(水) 16:00~17:30

会場:JBA会議室

1. 基本規程の改定について

- ・JBA改革における専門委員会の改編、および一般社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ(JPBL/通称「B. LEAGUE」)の来秋の開幕予定に伴い、以下のとおり、関連する基本規程を改定する。
- ・いずれも改定日を2015年10月14日付とする。

●第48条〔専門委員会の設置〕

➤専門委員会の改編による組織変更あるいは名称変更に伴い、規程上の表記を実情に合わせた。

●第137条〔協会納付金〕

➤JPBL(B. LEAGUE)の発足、来季の開幕予定に伴い、JPBLに対する協会納付金を規程に加えた。

※基本規程について、JBA公式サイトの各種規程ページにてご確認ください。

【URL】 <http://www.japanbasketball.jp/jba/kitei/>

2. 大会要項について

- ・2016年3月に開催される下記3大会について、その大会要項を承認した。
 - ① 第29回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会(ジュニアオールスター)
 - ② 第47回全国ミニバスケットボール大会
 - ③ 第2回3x3日本選手権大会および3x3日本選手権都道府県大会(予選大会)

※大会要項の詳細については、大会告知・特設サイト開設時などにおいて、大会ごとに順次公表します。

- ・ジュニアオールスター、ならびに全国ミニバス大会の2大会については、小中学生年代選手の育成・発掘という本来の趣旨に立ち返るため、今後、関係各所との協議を通じて「大会自体の在り方・仕組み」についても見直していくことを確認した。
- ・大会としての収支バランスの改善に取り組むことを確認した。

3. 報奨金規程の改定について

- ・他競技協会における事例、当協会の事業状況等を考慮し、日本代表チームの参加大会や順位の注目度、選手・スタッフの貢献度を考慮し、報奨金規程を改定する。
- ・男女日本代表チームが世界の上位を目指していくにあたり、上位順位の報奨金をより厚く支給する。
- ・改定日を2016年4月1日付とする(来年度より適用)。
- ・支給対象者は選手のみ。ただし、ユニバーシアードおよびアンダーカテゴリーは対象外とする。
- ・コーチ、スタッフについては都度協議し、対応する。

●改定内容(一部抜粋) ※表内下線部分を改定

(1) 代表権獲得報奨金(単位は万円)

【改定前】

| 大会名 | 金額 |
|-------------|----------|
| オリンピック | 50 |
| U-19世界選手権大会 | <u>5</u> |
| U-17世界選手権大会 | <u>5</u> |



【改定後】

| 大会名 | 金額 |
|--------|----|
| オリンピック | 50 |
| (削除) | |
| (削除) | |

(2) 上位入賞報奨金(単位は万円)

【改定前】

| 大会名 | 優勝 | 準優勝 | 3位 | 4位 | 5位 | 6位 | 7位 | 8位 |
|--------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| オリンピック | <u>300</u> | <u>200</u> | 100 | <u>80</u> | <u>50</u> | <u>40</u> | <u>30</u> | <u>20</u> |
| 世界選手権大会 | <u>300</u> | <u>200</u> | 100 | <u>80</u> | <u>50</u> | <u>40</u> | <u>30</u> | <u>20</u> |
| アジア選手権大会 | <u>30</u> | <u>20</u> | 10 | | | | | |
| アジア競技大会 | <u>30</u> | <u>20</u> | 10 | | | | | |
| ユニバーシアード競技大会 | <u>30</u> | <u>20</u> | <u>10</u> | | | | | |
| U-19世界選手権大会 | <u>10</u> | <u>5</u> | <u>3</u> | | | | | |
| U-17世界選手権大会 | <u>10</u> | <u>5</u> | <u>3</u> | | | | | |

【改定後】

| | 優勝 | 準優勝 | 3位 | 4位 | (削除) | (削除) | (削除) | (削除) |
|----------|------------|------------|-----|-----------|------|------|------|------|
| オリンピック | <u>500</u> | <u>300</u> | 100 | <u>50</u> | | | | |
| 世界選手権大会 | <u>500</u> | <u>300</u> | 100 | <u>50</u> | | | | |
| アジア選手権大会 | <u>50</u> | <u>30</u> | 10 | | | | | |
| アジア競技大会 | <u>50</u> | <u>30</u> | 10 | | | | | |
| (削除) | | | | | | | | |
| (削除) | | | | | | | | |
| (削除) | | | | | | | | |

※上記以外のFIBA公式大会については、大会規模等により「優勝」時のみ、20万円～5万円の範囲で運用する。

4. その他

● 男子リオデジャネイロオリンピック最終予選(OQT)招致について

- ・開催地立候補にかかる費用、およびその後の大会開催経費等の収支バランス、さらに国内開催都市の条件、予選方式等を十分に考慮した結果、今回の最終予選招致は見送ることとした。
- ・OQT 招致に必要と思われた費用について、女子のリオデジャネイロオリンピック、および男子の最終予選に向けた直接強化費として利用することを念頭に、速やかに来夏へ向けた強化日程の策定を行うこととした。
- ・世界最終予選については、11月24日にFIBAにて組み合わせ等、詳細が発表される予定であることが報告された。

● 日本代表チームニックネーム変更について

- ・「ハヤブサジャパン」のニックネームについては、2011年に公募により決定された経緯があるため、継続使用を検討する一方で、商標登録の問題があり、今後の日本代表チームのブランディング等に支障を来す可能性も否定できないことが報告された。
- ・上記の理由により、男子については「ハヤブサジャパン」の継続使用を含めて、そのニックネームについて調査・検討することを確認した。
- ・女子については、上記理由に加え、男子との同一ニックネームを避ける目的から、変更を行うこととした。
- ・変更については早急に調査・検討を行い、極力早いタイミングで決定する方向性を確認した。
- ・新ニックネームの公募については実施しないことが決まった。

以上